

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 12 日

仕 事 の 内 容	情報教育推進事業				
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係	課長名 佐藤 洋士

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業 17	情報教育推進事業
-----	------	-----	-----	-------	-----	-------	-------	----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	児童・生徒 →	児童・生徒数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 近年の高度情報化社会に対応した教育を進めるために、IT機器を活用しながら学習をするための環境整備ができている状態。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) パソコンの設置台数 →
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
各小・中学校における情報教育及び学校のICT化を図るために、コンピュータ教室の整備等の検討を進めた。	パソコン1台あたりの児童・生徒数 →	

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	6,611	6,571	6,562	/
	成果指標	②の数値	台	400	580	580	/
	目 標	②の目標値					
	目標値設定の考え方						
活動指標	③の数値	人/台	16	11	11	/	

3 経費	事業費(実績)		円	39,884,112	53,868,889	58,958,928	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	39,884,112	53,868,889	58,958,928	
		特定財源	円				
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	413,350	412,650	412,200		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	40,297,462	54,281,539	59,371,128		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	本事業は、高度情報化社会に対応した学習環境を整備することを目的に開始した(平成11年度開始)
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	文部科学省が定める平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針についての中で、3クラスに1クラス程度の学習コンピュータの配備が望ましいと定められている。	

仕 事 の 内 容	情報教育推進事業				
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係	課長名 佐藤 洋士

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	第一小学校における1②のパソコンの台数が他の学校に比べて少ないという意見があがっている。				

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	運用管理の一元化及び効率化				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
保守運用のコールセンターを統一することで効率化を図ったが、そのことの周知を継続して行った。					
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
保守運用の効率化はある程度実現できている。そこで、ICT環境を推進していくにあたってのさらなる環境整備が必要となって					

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	現在、第一小学校のみ1②のパソコンの設置台数が少ないが他の小学校の水準まで合わせることが考えられる。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	学校での実態に即したパソコンの設置台数の更なる検討が必要である。				
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費を増加させる。